

第 8 4 6 回

## 定例教育委員会会議録

日 時 平成 3 0 年 7 月 3 0 日 ( 月 ) 9 : 3 0 ~

場 所 益田市役所 第 2 会議室

益田市教育委員会

## 第846回 教育委員会定例会

招集年月日 平成30年7月30日（月）9時30分～

招集場所 益田市役所 第2会議室

### 議事日程

第1 会議録の承認

第2 教育長報告

第3 議題

議第14号 益田市教育委員会感謝状の贈呈について

報第28号 益田市奨学金貸付審議会委員の委嘱について

報第29号 平成30年度全国学力・学習状況調査結果について【非公開】

報第30号 平成30年度6月補正予算について

報第31号 第530回益田市議会（定例会）一般質問について

第4 その他

(1) 協議

- ・益田市立学校整備計画審議会への諮問について
- ・中学校特別の教科道徳用教科用図書採択について【非公開】

(2) 情報提供

- ・平成30年度9月補正予算について
- ・平成30年8、9月学校給食献立について

(3) その他

- ・小中学校通学路の点検について
- ・西益田小学校下校中の事故発生について

出席者

教育委員会

教 育 長  
教 育 委 員  
教 育 委 員  
教 育 委 員  
教 育 委 員

柳 井 秀 雄  
渡 辺 隆  
中 野 純  
舟 橋 道 恵  
村 上 三 恵 子

事務局職員

教 育 部 長  
ひとづくり推進監  
教 育 総 務 課 長  
学 校 教 育 課 参 事  
文 化 財 課 長  
人 権 ・ 同 和 教 育 推 進 室 長  
学 校 再 編 ・ 整 備 推 進 室 長  
美 都 分 室 長  
匹 見 分 室 長  
学 力 育 成 推 進 室  
教 育 総 務 課 長 補 佐  
教 育 総 務 課 主 任

武 内 白  
大 畑 伸 幸  
山 本 裕 士  
城 市 博 明  
木 原 光  
石 田 公  
田 原 啓 文  
河 本 昭 宏  
佐々木 厚 造  
江 角 しのぶ  
藤 本 美 香  
中 田 香 織

柳井教育長 時間となりましたので、第846回定例教育委員会を始めさせていただきます。

## 第1 会議録の承認

柳井教育長 会議録の承認につきましては、先ほどご承認いただきました。

## 第2 教育長報告

柳井教育長 それでは教育長報告をさせていただきます。

3日には桂平小学校水泳教室を視察していただき、大変ありがとうございました。実施した結果として児童、先生、保護者にご意見をお伺いしたところ、天候に左右されずに実施できるので良いという意見や子ども達への指導がしっかり出来ているので良いという意見、往復するのにかかる時間に課題があるという意見がありましたが、概ね、この事業に対して良好な意見をいただきました。

続きまして、4日の事務職員研究会の訪問がありました。今年度、グラントワで島根県公立小中学校の事務職員の研究会があるということで事前のお願いに来られました。

次に5日ですが、教職員の働き方検討委員会が開催され、管内の各学校の校長先生方、教頭先生方、主幹教諭が集まり検討を始めました。

やはり実態をしっかり把握しないといけないということで、9月から1カ月間毎日どのような勤務をしているのか、勤務時間以降に何をして超過勤務になっているのか、また、持ち帰り残業などの実態調査をしながら、教職員に対しては、アンケートでどのような思いを持っているか、使命感や疲労感など教職員自身の思いが分かるようなアンケートを9月から実施していきたいと思っています。

今後の検討委員会では、学校の管理職だけではなくて教諭、養護教諭、事務職員も参加していただき、検討していこうと考えております。

6日と26日には、外部評価委員会を開催いたしました。4名の方にお越しいただき教育委員会事業の内部評価を外部の方に評価してもらうということで開催をいたしました。

今月は教育部長と各学校を訪問しております。エアコンの設置、トイレの設置、校舎の老朽化について多くの学校からご意見をいただいております。

主な報告は以上となりますが、何かご意見等はございますか。

村上委員 26日のスクールタイマーというのはどういうものでしょうか。

柳井教育長 毎年、グラントワで100人の吹奏楽が開催されております。この

度、その収益金から市内の中学校11校に対してスクールタイマーを寄贈していただくことになりました。これは、デジタルタイマーで、簡単に言えば時計です。音楽の授業や部活動の時に有効活用してほしいということで寄贈していただきました。

渡辺委員 東陽中学校が模擬議会議会を体験されていますが、市内では他に何校か体験をされていますか。

柳井教育長 今年度は2校を予定しております。実際に議場に入って答弁等をしてもらいました。

渡辺委員 中学生が市政に関心を持ってくれるというのは良いことですね。

柳井教育長 特に選挙権が18歳に下がったり、成人年齢が18歳になるということもあります。そういうことに伴って、政治に対して関心を持って前向きな態度で参加できる子ども達を育てたいということで模擬議会議会を行っております。

中野委員 先程、学校訪問の話の中にありましたが、私も学校を訪問することがあり、お手洗いのにおいが気になることがあります。

また、一般家庭の多くは洋式ですが、学校では和式が多く、このことも課題の一つだろうと思っています。

これらの課題についても、計画を立てながら改修であったり改善ということをしていく必要があると感じております。

柳井教育長 学校整備計画審議会等の中でも検討していかないといけないと考えております。

舟橋委員 12日の学校警察連絡協議会の議題の中には学校に関わるような話がありましたか。

柳井教育長 挨拶の中で市の取組について話をさせていただきました。

学校に関わる話では、夏休みの見回りなどについて出ておりました。

また、児童生徒の非行について、以前のような大きな問題もなく、件数も減ってきているということでした。

それではこの件につきましてよろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

### 第3 議題

#### ○議第14号 益田市教育委員会感謝状の贈呈について

柳井教育長 それでは、議第14号益田市教育委員会感謝状の贈呈について、事務局よりお願いします

武内部長 表彰該当者は2名おられます。学校教育課からは豊田和美さんを推薦させていただきます。

この方は、「益田市子どもとともに育つ親の会」の会長を5年間務

められ、現在は副会長を務めておられます。今の学校は、教員だけでなく、その周りの支援団体等と連携をしながら子ども達を育てるということが必要不可欠となっております。この「子どもとともに育つ親の会」につきましては、言葉や聞こえ、コミュニケーション等にハンデがある子ども達の保護者等が集い活動されており、豊田さんにおかれましては、この会を主導しながら子ども達の健全な成長のためにご尽力をいただいております。

大畑推進監

社会教育課からは高田先生を推薦いたします。

高田頼昌先生は、図書館長を務められ、長年、夏休みの作文教室で読書感想文の指導をしていただいております。ご高齢であるということで昨年度までということになりましたが、お礼を込めて感謝状を贈呈したいと考えております。

村上委員

お二方の推薦については全く異論もございませんし、本当に感謝を申し上げるべきだと感じております。

一方で、地域の中で人知れず長年に渡って貢献しておられる方々が漏れなく、こうした感謝を伝える機会に上がってきているのかということが気になります。

例えば、退職して15年間小学生教室などを開いておられる先生方もおられます。その方が表彰の対象になっているかどうかは別にいたしましても、通学路の見守りを長年に渡って行っている方や、子ども達に関してご尽力いただいている方々に漏れなく感謝の気持ちが伝えることができるといふふうに思っております。

公民館やいろいろなところからの情報を得ながら推薦をしていただきたいと思っております。

また、ご寄付をいただいた方へ教育委員会としてお礼状を出されているかとは思いますが、子どもの教育とか子どもの健全育成にとっても関心があるからこそのご寄付ですので、例えば先日ありました青年の主張などの児童生徒の発表の場に招待するなど、教育委員会として感謝の気持ちを伝える方法もあれば良いなと思っております。

舟橋委員

私も村上委員さんがおっしゃられたことに賛成です。

長年学校に寄与されておられた方や地域を盛り上げておられる方を漏れなく拾い上げていただきたいと思っております。教育委員会としてもそのように進めていくことが大事だと思っております。

武内部長

漏れがなくなるようなシステムづくりなどを検討していきたいと思っております。

柳井教育長

それではこの件につきまして、お一人ずつ承認をいただきたいと

思います。まず、豊田和美さんについて、承認いただける方は挙手をお願いします。

教育委員  
柳井教育長

=全員挙手=

ありがとうございます。承認いただきました。

それでは、次に高田頼昌さんについて承認いただける方は挙手をお願いします。

教育委員  
柳井教育長

=全員挙手=

ありがとうございます。お二方とも承認をいただきました。

### ○報第28号 益田市奨学金貸付審議会委員の委嘱について

柳井教育長

それでは続きまして、報第28号益田市奨学金貸付審議会委員の委嘱について、事務局よりお願いします。

山本課長

益田市奨学金貸付審議会の委員は条例で定められておきまして、委員10名以内で組織をしております。構成は教育委員、市の職員、中学校長、知識経験者で、市長が委嘱することと定められております。

市の職員には、副市長、教育長、総務部長を充てております。ご承知のとおり、6月議会におきまして河上信男氏が副市長として議会の同意を得ております。また、このことに伴いまして、7月に総務部長の人事異動があり、それぞれ、河上信男氏と藤井寿朗氏が奨学金貸付審議会委員に委嘱されましたのでご報告いたします。

柳井教育長  
教育委員

それでは、この件につきましてよろしいでしょうか。

=全員了承=

### ○報第30号 平成30年度6月補正予算について

柳井教育長

それでは続きまして、報第30号平成30年度6月補正予算についてお願いします。

武内部長

それでは、学校図書館活用教育研究事業ですが、この度、高津小学校を対象として事業を進めるにあたって、県の委託金で実施するという事で補正をいたしました。

続きまして、学校を核とした子育て充実事業ですが、現在、全校のコミュニティスクール化に向けた事業に取り組んでおりますが、その中で新たに事業を進めたいということで補正をいたしました。この事業の財源は、地方創生の税制寄附金ですので、歳入については不確定なところがあります。

大畑推進監

次に、昨年度から行っている未来の担い手育成事業ですが、これは県の魅力化事業として16の市町村が一緒になって国の地方創生推進

交付金の事業として共同で申請をした結果、採択され、カタリ場の事業にかかる一般財源350万円のうち半分について、国の補助金を充てることになりましたので補正をいたしました。

次の関係人口拡大事業ですが、益田市の私立高校2校には県外から約200人の生徒が来ております。この生徒達が県外から来ただけではなく、益田市のいろいろな方と関係を持って、益田市のことを応援していただける関係人口の対象として考えていこうというものです。

主に、県外生を中心とした地域での課題解決活動や地域貢献活動などの教育活動に対しての補助金として補正いたしました。

次に、学校を核とした子育て充実事業ですが、地域と一緒にいろいろな活動を学校内外で行っていますが、公民館職員だけでは足りないために、次世代育成コーディネーターを配置しております。これに係る費用等について補正をいたしました。

次は、ブックファースト事業です。今回、市立図書館に学校の調べ学習、読み物の本を集中的に購入し、その本を週1回各学校に配本するというを株式会社益田市総合サービスのご協力で実現でき、これに係る費用について補正いたしました。

また、子育てハッピー事業として乳幼児に本を配っておりますが、この本をより充実したものにすることで本の購入費も補正いたしました。本に親しむ環境づくりをしっかりと、結果的に子ども達の学力向上、子育てしやすい町であるということの子育て世代にしっかりと知ってもらえるような事業展開を組み立てていきます。

柳井教育長  
教育委員

この件についてご質問等あればお願いします。よろしいでしょうか。  
=全員了承=

### ○報第31号 第530回益田市議会（定例会）一般質問について

柳井教育長

それでは続きまして、報第31号第530回益田市議会定例会一般質問について説明をお願いします。

武内部長

第530回の市議会におきまして、教育委員会に対し高橋伴典議員、中島賢治議員、河野利文議員からご質問がありました。

答弁内容につきましては、資料に掲載しておりますので、項目等のみをご説明いたします。

高橋議員からは、次代に活躍できる人材育成のための学校教育ということで、小さくは5つの質問がありました。子どもの育成方針、学力保障、人材育成の方針が子どもに周知認識されているか、また保護者に周知認識されているかということ、それから、教育施策と地域振興策についての質問を受けました。

中島議員からは、地域振興センター廃止とその名称変更についてということで大きな課題をいただきまして、この中で、今なぜ公民館なのか、地域自治組織と公民館、それから公民館の将来像についての3つのご質問を受けました。

続きまして、河野議員からは、県立高校のあり方検討委員会の提言を受けたことに対するご質問をいただきました。2020年代の県立高校の将来像、それから地域協働スクールという中で小中学校のコミュニティスクールをどのようなに展開していくのか、また展開する中で公立高校を支える仕組みについてご質問を受けました。

詳細につきましては、資料でご確認いただきたいと思います。よろしく申し上げます。

渡辺委員 質問や答弁の内容について共感するものがありました。教育委員を務めて4年になりますが、思いが少しずつ通じてきているような感じがしまして、とてもうれしく感じました。

柳井教育長 ありがとうございます。

それでは、この件につきましてよろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

## 第4 その他

### (1) 協議

#### ○益田市立学校整備計画審議会への諮問について

柳井教育長 それでは続きまして、その他の協議、益田市立学校整備計画審議会への諮問について申し上げます。

田原室長 今回は、審議会へ提出します諮問書を資料として添付しておりますので、その諮問内容についてご意見をいただきたいと思います。

まず、諮問事項は、益田市小中学校の再編に関する基本的な考え方になります。

その諮問理由について数行に渡って書いてありますが、要約いたしますと、益田市の小学生、中学生の数が昭和60年頃と比べると半数以下までに減ってきている中で、教育環境の面においては一定の学校規模であることが望ましく、教育委員会は学校の設置者として良好な教育環境を提供し続けることが重要であるということをご前提として上げております。

学校の適正規模の観点から、さらなる学校再編を検討していかねばならない状況ではありますが、一方で学校は地域コミュニティーの核として位置付けられる施設でもあります。市が推進している「つろうて子育て」の考え方や将来的な各地区のあり方も考慮に入れ、地

域の方々や児童生徒の保護者の意見も伺いながら学校再編の考え方について検討を進めていく必要があります。

こうした状況を踏まえながら、益田市における将来を担う子ども達の教育環境の基本的な考え方について答申をいただきたいと思っております。

続きまして、審議会の開催スケジュールですが、30年度、31年度の2カ年度に渡りまして審議会を開催する予定になっております。

まず、今年度につきましては8月中にこの諮問書を審議会に対して提出したいと思っております。その後2回の審議会を開催する予定としておりますが、3回目ところで答申をいただき、基本指針を策定する予定としております。

31年度につきましては、審議会の委員さんのご意見をいただきながら、具体的な実施計画を作っていくと考えているところです。

次に、審議会の委員構成ですが、現在、委員になっていただく方を検討しており、資料の3ページにある構成にしていきたいと思っております。

まず、1号委員を4名ほど設けさせていただきました。その中には地域に詳しい大学の先生、小学校の校長先生、中学校の校長先生、高等学校の校長先生に委員として入っていただきたいと思っております。

2号委員にはPTAの代表と母親委員の代表として3名の方を考えております。

3号委員につきましては、関係諸機関の代表者3名としておりますが、諮問書の中にもありますとおり、将来的な地域のあり方を考えながら学校のあり方も考えていきたいというところから、中規模校がある地区、小規模校がある地区、現在小中学校のない地区の地域自治組織の代表1名ずつに委員として入っていただき、この再編計画の中身についてしっかりと協議をしていただきたいと考えております。

また、4号委員として副市長にも入っていただくことを考えております。

第1回の審議会を8月14日頃に開催したいと考えておりますが、諮問書の内容について、これでよろしいかどうかご検討いただきたいと思えます。

舟橋委員 この諮問書は、字数が限られているのでしょうか。1ページでまとめないといけないのでしょうか。

田原室長 特に字数は限られておりません。今回、1ページでまとめるような形にしてはおりますが、この諮問を行うに当たりまして、これまでの経過等を口頭で説明をしていきたいと考えております。

舟橋委員

この諮問書は多くの方が目にされるとと思います。教育委員会は何をこの答申に求めているか、諮問事項は書かれていますが、具体性がなく分かり難いと思います。諮問事項に基本指針とありますが、基本指針というのは方向性だけになって具体的なものが見えてこないと思いますので、本当にこれで良いのかと思っております。

前回、田原室長から説明がありましたが、とても分かりやすかったです。前回の説明資料には、今後の進め方として、学校の適正規模、適正配置の考え方について書いてありました。この適正規模、適正配置という2つの言葉は非常にはっきりしていると思います。この2つのことについて、基本的に決められていかないといけないと思いますので、これをもっと分かり易く出した方が良いと思います。

今、小・中・高の学校が年間500校ぐらいなくなっているということが新聞記事に書いてありましたが、それぐらいに再編、すなわち適正規模、適正配置を実施してきているわけです。いろいろな悩みを抱えながら、それぞれの地域で実施してきているわけですが、各地域での進め方なども勘案しながら、益田市にとってより良いものになるようにというところが表現できれば良いと思います。

それから、前回の説明では、文部科学省の公立小中学校の適正規模・適正配置に関する手引に基本的な考え方が書かれているということでしたが、これは全国的に進められてきた基本的な考え方ですので、適正規模、適正配置という言葉をはっきりと出していけば良いと思います。前回の説明の中で話された内容をこの諮問書の中に活かしていただきたいと思います。

また、諮問理由についても何を求めているのかが分かり難いように感じました。

適正規模ということについては主に上段にあたり、適正配置については、後段あたりに書かれていると思いますが、各項目に分けて書かれた方が、諮問を受けられる方もより分かりやすくなりますし、分かりやすくなることで、回答もきちんとしたものが返ってくると思います。

相手に求めるのではなくて、こちらの質問を明らかにしていくということが大事だと感じました。

田原室長

舟橋委員さん、ありがとうございます。

まず、前回の定例教育委員会の中でご説明をさせていただいたことにつきましては、今後開催する審議会の中でもお話をしていきたいと思っております。

それから、市の考え方の方向性を示していくために市の附属機関で

ある学校整備計画審議会がありますので、まずはこちらの意見を前面に押し出すのではなく、審議会の委員の皆様にも、現状を知っていただき、今後こういった方向に向いて進めれば良いかというところをお聞きしていきたいと考えております。

そういった中でこちら側の考え方も出していきたいと考えておりますので、舟橋委員さんがおっしゃるとおり、諮問書の中では市がどういうふうを考えているのかが見え難いと思います。私の中ではこういう方向にしたいというのがありますが、まずは審議会の委員さんに諮問ということ考えていただきたいと思います。

3回の審議会を開催する予定としておりますが、その3回の中で上手く答申を引き出さないといけませんので、審議会の中でしっかりと説明をしていきたいと思っております。

舟橋委員

田原室長さんのお考えはすごく良く分かります。分かった上で言わせていただきましたが、諮問書を見た時に教育委員会は何を求めているのかが見えません。説明は必ずされると思いますが、ただ、この諮問書では説明は見えません。やはり、多くの方に分かってもらえるもの、多くの方に適正規模のこと、適正配置のことを考えてほしいという気持ちが伝わるのが大事だと思います。

前回の説明から田原室長さんの思いは良く伝わりましたが、この諮問書ではその思いが伝わらないと思います。伝わる言い方、表現をした方が、これから先、より効果的にこの諮問機関が動けると思います。

地域の皆さんは学校の規模のこと、配置のことを心配されていますので、だからこそ地域も活性化して、より益田市らしい特徴のある学校を再編していかないといけないというところを考えていただきたいという思いが伝わるように表現していただきたいと思っております。

柳井教育長  
中野委員

ありがとうございました。他にご意見はありますか。

委員構成やスケジュールを示されておりますが、基本指針策定の公表前の段階で、パブリックコメントという形で市民意見などの募集も考えておられますか。

田原室長

10月に答申をいただき、12月に公表という予定でおりますが、今の段階では実施するとは言えません。ただ、基本的な指針を作るということですので、パブリックコメントも実施していくべきだと思っております。

大畑推進監

基本指針策定後に作成する実施計画についてはパブリックコメントの必要があると思います。

中野委員  
村上委員

ありがとうございました。

この再編というのは、その中身が適正規模や適正配置のことについて

具体的に検討、進めていくということであるというのを何らかの言葉で示したほうが良いと感じました。

それから、スケジュールについてですが、10月までに答申をいただいて、基本指針を12月の議会を目途に策定していくには、時間的に難しいのではないかと思います。

答申を受けて、行政として教育委員会として、また市としてそれを公表していくに当たっては、内部のそれぞれの中での調整も非常に必要になってくると思いますし、事務局側の協議の時間もかなり必要になるのではないかと思いますので、12月ではなく、もう少し後にずらした方が良いのではないかと思います。

田原室長 諮問書の内容につきましては、もう少し方向性が見えやすいものになるように再考いたします。

それから、基本指針の策定ですが、12月ということでスケジュールを出しておりますが、確かに答申をいただいてから公表まで期間が若干短いとは思いますが、まずは12月の策定に向けて動きたいと思えます。ただ、時期がずれる可能性もあるということをご理解いただきたいと考えております。

舟橋委員 今回のスケジュールに関しては、私も村上さんと同意見です。

それから、審議会委員ですが、構成委員を見ると、ほとんど男性で、母親代表だけが女性になるのかなと思います。もっと女性の意見も取り入れていかなくてはいけないと思います。

それからもう一点、地域自治組織の代表が入っておりますが、公民館長や自治会長も一人ずつは入っても良いのではないかと思います。

今までの考え方であったり、地域自治組織の現状というところ、地域住民が自治組織の中で活動されている地域は限られたところしかないと思いますので、公民館や自治会の意見も必要なのではないかと思います。

田原室長 今回委員11名を考えている中で、現在のところ2名の女性の方に内諾を得ております。ですが、全体からいいますと、まだまだ女性の割合が少ないという部分は否めないと思っております。

今回はこういう形で進めさせていただくこととなりますが、舟橋委員さんがおっしゃられたように女性の方々のご意見も十分踏まえられよう形になっていくように、修正できるところは修正していきたいと思っております。

舟橋委員 地域組織の代表はその長ではなくても、その中の女性を代表ということで選んでいくこともできると思いますので、よろしく願いいたします。

大畑推進監 諮問理由の中に「切磋琢磨」という言葉がありますが、この言葉は、競争したり、競い合いながらという意味合いが強く、これからの学校は主体的で対話的、そして協働していくという方向性でありますので、言葉のニュアンスが違うのかもしれないと思います。

舟橋委員 諮問理由の4行目に「一方で学校教育は集団で行うことを基本として」とありますが、学校において集団で子どもを育てるというよりは、集団を通して一人一人の子ども達を多様な考え方、生き方を認めながら育てていくという考え方でありますので、少しこの言葉を検討していただきたいと思います。

それからもう一点、9行目の「良好な教育環境を提供し続けることが重要」とあるというところは、そのとおりではありますが、「良好な」という言い方ではそれぞれの価値観によって違ってくると思いますので、もう一度検討いただきたいと思います。

柳井教育長 それでは、いろいろ貴重な意見をいただきましたので、それをもとに再考していただきたいと思います。よろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

## (2) 情報提供

### ○平成30年度9月補正予算について

柳井教育長 それでは、次に情報提供ということで、平成30年度9月補正予算についてお願いします。

山本課長 お手元のほうに9月補正事業別概要書がありますが、これは要求段階のもので、今後予算査定等も行われてくる中で額の変更や要求そのものの先送りといったこともありますので、ご了承の方よろしくをお願いします。

教育総務課からは、大阪府の北部地震に伴うブロック塀の関係で、学校施設内の緊急点検を行った結果、建築基準法施行令に適用しないブロック塀等の撤去及びフェンスの設置に係る経費について補正の要求をいたします。該当するものは高津小学校が2カ所、それから西益田小学校が1カ所になります。

武内部長 続きまして、学校教育課からは、学校図書館図書整備事業の補正についてですが、小中学校に対しまして寄付金をいただきましたので、各学校へ図書を購入するということで補正をするものでございます。

その次に、いじめ・不登校等対策推進事業費ですが、これは現在、国に事業の申請をしておりまして、それが採択されれば事業が進められることとなりますが、いじめ・不登校問題等連絡委員会の委員報酬等の予算について補正をする予定のものです。

木原課長

文化財課からは2件について補正の要求をいたします。

まず、歴史を活かしたまちづくり魅力発信・調査研究事業費です。これにつきましては歴史文化基本構想を策定する文化庁の補助金を使って事業を進めておりますが、この補助金につきましては本来、10分の10ですが、全国からの応募が非常に多いということで、大体その6割程度になり、残り4割は自主財源で賄っております。

しかし、結果的に見込みよりも40万円多く交付決定をされましたので増額の補正をいたします。

また、歴史文化基本構想の中を構成します文化遺産のマップ作製委託料について、公民館単位の各地区での分布図を作るために委託料を増額いたします。

それからもう一つ、市内遺跡発掘調査等事業費につきましては、当初予算の要求時点では具体的に想定しておりませんでしたスクモ塚古墳に隣接する市道改良工事に伴う周辺部の発掘調査に対応するための増額補正をいたします。

また、国指定に向けて準備を整えつつありますが、大元古墳の発掘調査の報告書の作成、これについては一部減額可能であるという精査をしましたので補正をいたします。

大畑推進監

社会教育課からは、概要書が出来ておりませんが、益田東高校が甲子園に出場いたしますので、急遽、激励金を出すということで補正の要求をすることとなっております。

柳井教育長

この件についてご意見、ご質問等はありませんでしょうか。

村上委員

いじめ・不登校等対策推進事業費の委託料は、どこへ事業委託をする予定のものでしょうか。

城市参事

この委託金は、クラスジャパンの協定に基づく事業に充てるということで文部科学省の公募に応募して採択を待っているところです。教育委員会がクラスジャパンに394万2千円の委託料を支払い、残りの130万円ぐらいを子ども・若者支援センターでその準備に当たる事務補助の方の賃金等に充てることとしております。

村上委員

ありがとうございました。3月にクラスジャパンとの協定を締結して、あれから数カ月経つ中で、具体的に学校との連携などどのような活動をしているのかお聞きしたいと思っております。

城市参事

クラスジャパン側は専門のネット担任、ホームルームを行う担任を雇うということで7月からようやく動き始めました。

現在、学校側もクラスジャパン、子ども・若者支援センター、ふれあい学級といったものを間に挟みながら、保護者の同意と本人の同意も持って動き始めようとしているところです。

この文部科学省の補助金は3月に公募された際に応募しましたが、4月に不採択という結果をいただきました。クラスジャパンにはこの公募したものの予算で事業を進めることとしておりましたので、このことを先方にお伝えしましたら、いろいろな企業から協賛金を得ており、それをもって運営をしていくことに方向転換をしていただきました。

ただ、6月にこの補助金の追加公募があり、それに応募いたしましたので、採択の結果を待っているところです。

舟橋委員 良い機会なので教えていただきたいと思います。

ふれあい学級は義務教育の段階、子ども・若者支援センターはそれよりも上の段階という考え方で分けておられるのでしょうか。

城市参事 基本的にはそのようにしています。どちらかというとなふれあい学級は不登校支援ということで、学習の機会を提供しており、子ども・若者支援センターは就労支援がメインになっております。ただ、同じ建物の中にありますし同じ人間が関わっていくこともありますので、それぞれが一緒になって支援をしております。

舟橋委員 私自身も、どうしてここが一つにならないんだろう、同じ益田市の教育委員会の中でなぜここが分かれているのかという思いがありました。子ども・若者支援センターは社会教育課、ふれあい学級は学校教育課みたいな縦分けは好ましくないと思います。教育委員会の中で不登校の支援をしているところが一緒になって進めていける方法を見出せないのでしょうか。

城市参事 学校教育課、社会教育課の両方の職員が行き来をし、一緒になって支援をしていきますので、完全に分けるということはありません。

ただし、子どもさんの状況で合わせているところがあり、元気があったりエネルギーがある子は体を動かしたりすることが出来ますが、そうではない子に対しては、他の子と一緒にするわけにいかないというところもあります。その場合は静かに一人で学習ができるような環境を与えてあげる必要もあるかと思えます。

大畑推進監 これについては、今年度、変えたいということで話を進めているところです。子育て支援相談室のこともありますし、特別支援の教育に対する支援であったり指導であったりということも含めた一体的なセンターにしていく必要があるだろうと内部で協議しております。ただ、いろいろ難しいところもあります。

舟橋委員 やはり同じ案件に効果的に動けるような形にしていけないといけないと思います。その中では特に職員間の情報共有がしっかりしていないと、同じ場所で活動をしている意味がないと思います。

是非とも広い視野に立って、一緒になってできる方向性を見出して

いただきたいと思います。

柳井教育長 ありがとうございます。それではこの件についてよろしいでしょうか。  
教育委員 =全員了承=

### ○平成30年8、9月学校給食献立について

柳井教育長 それでは、平成30年8、9月学校給食献立についてお願いします。

山本課長 黄色の献立表が高津学校給食センターのものになります。今月のテーマは、「暑さに負けない食事をしよう」です。この時期は食欲が落ちやすい時期ですので、3食しっかり食べて夏バテをしないということで、このテーマとしております。

主なメニューは、3日に保小中連携献立、11日が益田の食育の日、それから20日がお月見献立となっております。

裏面には、上手に水分補給をしようということで、水分補給のポイント、それから補給するのにどんなものを飲んだら良いのかといったところを掲載しております。

また、白色の献立表が美都調理場のものになります。献立内容は若干違ったところもありますが、後ほどご覧いただければと思っております。

柳井教育長 それではよろしいでしょうか。  
教育委員 =全員了承=

### (3) その他

#### ○小中学校通学路の点検について

#### ○西益田小学校下校中の事故発生について

柳井教育長 それでは、小中学校の通学路の点検についてと合わせて西益田小学校下校中の事故について報告をお願いします。

武内部長 小中学校の通学路の点検につきましては、大阪北部の地震を受け、ブロック塀等の今まで見過ごされてきた危険箇所について、改めて学校に点検を求めています。

点検結果の報告の締切を夏休みに入るまでとしておりますので、最終的なまとめはできておりませんが、各学校からは報告が上がってきております。

通学路のブロック塀があるところは民地ですので、何ができるかというのはこれから検討しなければなりません、すぐに対応できる状況ではないと思っております。揺れたらそのブロック塀から逃げるなど、そういった注意喚起をしていくことになるのではないかと考えているところです。

次に、西益田小学校からの下校中に事故が発生したということで、

今年是非常に猛暑で熱中症ということが叫ばれておりますが、先日、西益田小学校の児童が下校中に、西益田地区振興センター辺りの歩道で児童が倒れているのを、匹見中学校の先生が通りかかって見つけたということがありました。

重症ということではありませんでしたが、その日は入院をして様子を見ました。単に熱中症かどうかわかりませんので血液、脳波等も見ておりますが、今のところ重症ということは聞いておりません。報告は以上です。

柳井教育長 この2件についてよろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

柳井教育長 それでは、次回の日程を決めたいと思います。次回は8月29日の13時30分から定例教育委員会を開催いたします。よろしく願いいたします。それでは以上で定例教育委員会を終了いたします。ありがとうございました。

=終了時間 12時00分=